

Ene-1ブリーフィング資料

■走行全般

- 1.ドライバー・ライダーは決められた服装・装備品を正しく着用し走行して下さい。
(ヘルメット・ツナギ服・グローブ・シューズ)
- 2.ホームストレート上のパイロンラインは絶対超えないこと。
スタートはコース左側・ゴールはコース右側走行になります。
- 3.走行中は**基本コースの右側走行**になります。
※車両トラブルで停止する場合は、**必ずコース外で停車**して下さい。
- ※後続車の走行を妨げた場合、ペナルティを可する場合がある。
※ストップした車両はオフィシャルにより、コース外に移動させる場合がある。
- 4.走行中にブレーカの復帰作業を行う際は、必ず電池、配線の状態を確認してから行うこと。
- 5.コースレイアウトを熟知し、オーバーランやコース間違いに注意すること。
- 6.各アタック中に走行不可能となった場合、車両をコース外に移動させ、安全な場所に退避すること。オフィシャルが走行距離の認定を行う。
※以後のアタックは嘆願書提出を条件に順位・賞典対象外で出走ができる。
- 7.黄旗表示中は前方に低速車両または停止車両があるため、コース状況に細心の注意を払い走行すること。
- 8.走行終了時は各監視ポストにて**赤旗+赤ライトパネル**が表示される。
確認したら直ちに停止し、必ずオフィシャルから走行距離認定を受けて下さい。
- 9.追突による走行妨害は失格になる場合がある。
- 10.走行枠以外の時間帯は、他のクラスの車両・競技運営車両が通行するので、接触等危険な状況を回避するため、むやみにピットレーンやシグナリングプラットホーム(ピットレーンウォール)には出ないこと。



図 1 ホームストレート上パイロン線

■タイムアタック

1. 1stアタックのスタート順は基本整列順となる。

(走行会で上位走行車両は速めの整列をお願いします。)

走行前の動作チェックを終えたチームより順に整列すること。コントロールタワー前のスタートテントから日章旗の合図により、フルコース1周のアタック開始となる。

なお、2nd,3rdアタックの走行順は、その直前のアタック結果順位からの走行となる。

2. 約10秒間隔(速やかにスタート出来るようにスタンバイ)で出走開始となる。

※最終出走時間についてはタイムテーブルを確認すること。

3. ホームストレートを右側で戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)で

チェックを受けた。チェックを受けたドライバー・ライダーは緩やかに減速し、ピット出口付近まで徐行すること。

オフィシャルの指示でUターンし、登録されたメカニックのサポートで車両を黒いアスファルト部分を通り、50～52番ピットまで移動する。

充電池とサーキットブレーカを指定された場所に保管すること。

※白いコンクリート部分を通ると、ペナルティ対象となる可能性があるので注意すること(図2)。

※ピットロードは自走またはメカニックによる手押しで移動すること。

4. 1st,2ndアタックで完走できなかったチームは、各アタック終了後30分以内に出走嘆願書をピットビル2階の大会事務局へ提出することにより、次のアタックに出走することが出来る。

その場合、駆動用電源・サーキットブレーカの保管は解除され充電が認められるが、

嘆願書提出以降のアタックは賞典外の出走となる。

5. 全アタックを完走したチームは、競技終了後に車両保管の対象となるためオフィシャルの誘導に従い、車両保管場所のPIT1～4に車両を預けること。

6. 全ての競技が終了し記録の集計を行った後、競技の暫定結果が発表される。また、最終チェック車両の再車両検査終了後、車両保管が解除となるので、保管場所より車両を引き取ること。



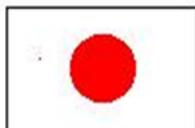
図 2 ピットロード



SUZUKA CIRCUIT

競技に使用するフラッグ

【日章旗】



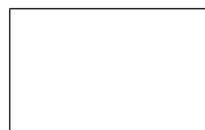
競技スタート合図の旗

【イエローフラッグ(黄旗)】



前方に低速車及び停止車両あり。
前方に注意して走行。

【ホワイトフラッグ(白旗)】



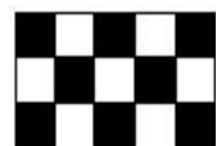
競技車両以外の走行車両あり。
前方に注意して走行。
走行距離認定のオフィシャルカー、救急車
レスキューカー等の車両が走行する場合あり。

【レッドフラッグ(赤旗)】



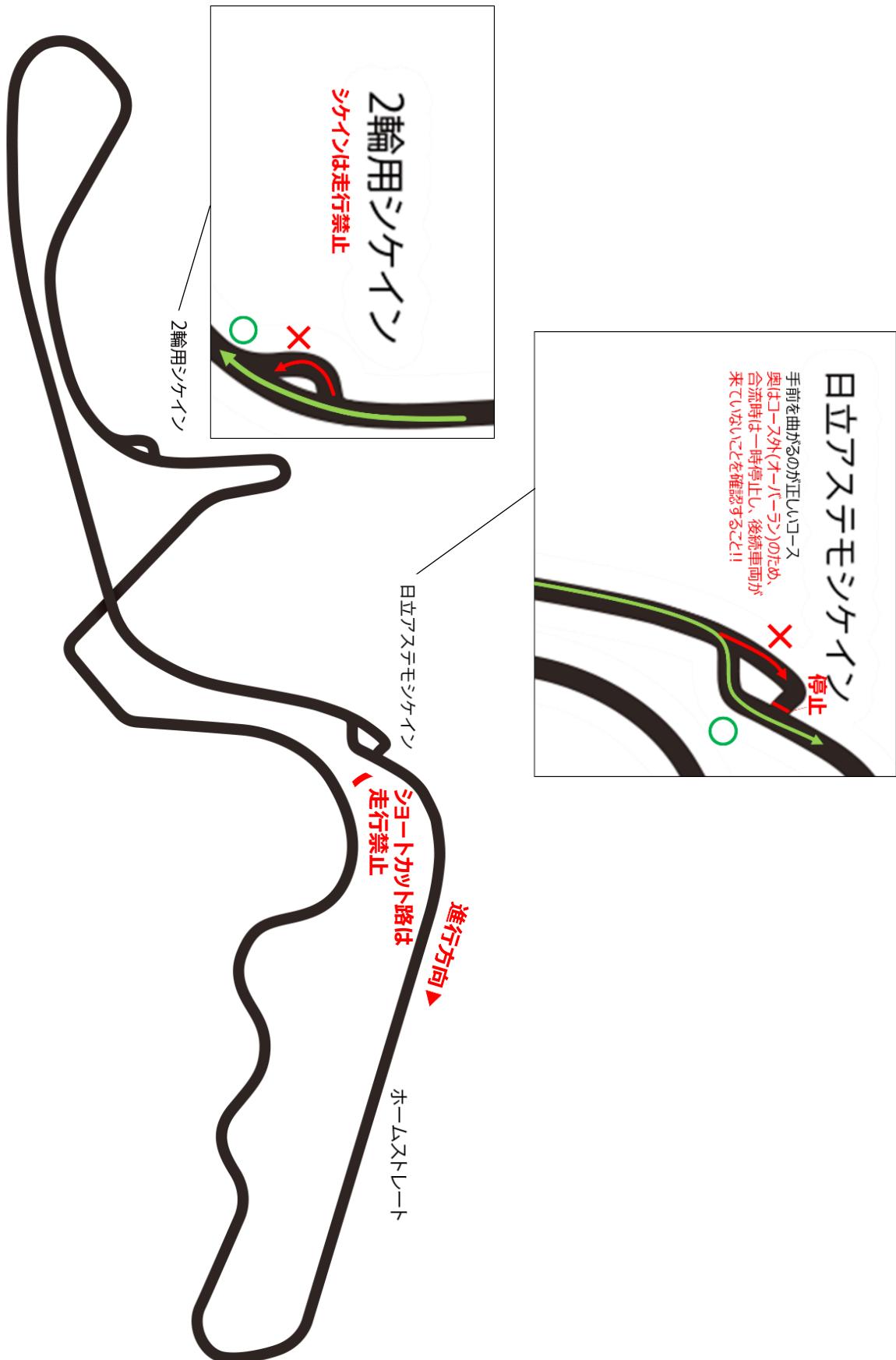
競技の中止
ドライバー・ライダーは直ちに速度を落とし停止すること。
オフィシャルの指示に従うこと。

【チェックカーフラッグ】



競技終了の合図

コースレイアウト



以上



SUZUKA CIRCUIT